

競技に関する注意事項

1 コロナウィルス感染拡大防止対策

- (1) 今大会は無観客とし、競技場へ入場できるのは、各団体の代表、選手、マネージャー、競技役員のみとする。競技場またはウォーミングアップ場へ入場する場合は体調管理チェックシートの提出が必要となる。競技場では必ずマスクを着用し、密を避ける。
- (2) ①本大会1週間前から今大会用の「大会前・提出用 体調管理チェックシート」を記入する。
②競技場に着いたら、最初に選手・代表・マネージャーは、1階正面玄関ウッドデッキで必ず体調管理チェックシートの提示と検温を行う。このチェックを受けなければ、本競技場、ウォームアップ場への入場や招集を行うことができない。
③選手の体調管理チェックシートの提出は、招集完了後に競技場へ入場する際にゲートで行う。
④各団体の代表とマネージャーは、体調管理チェックシートを提示・提出した際、入場IDを配布する。IDは、競技場とウォーミングアップ場の入退場使用する。(競技役員は審判員証でよい。)競技場へはメインスタンド出入口から入退場(選手も含む)する。(※各団体の最大発行IDは3枚とする。)
⑤IDに不正があった場合は、代表、マネージャーのIDを無効とする。また、再発行は行わない。
⑥大会当日に出場できない選手がいる場合は、競技者係(招集場)に欠場届を提出するか口頭で申し出る。
⑦大会後の2週間についても「大会後・自己管理用 体調管理チェックシート」を記録する。
- (3) 出場する種目の競技開始2時間前から競技場への来場を認める。それよりも早く競技場へ来場しない。
- (4) 正面スタンドについては特に席を指定しないが、密を避けて座る。
- (5) 声を出しての応援は個人、集団問わず禁止する。
- (6) ウォーミングアップや自身の競技の最中以外はマスクを着用し、密を避ける行動をする。
- (7) 更衣室については、使用する際は1階正面玄関入り口から入り、体調管理チェックシートまたはアスリートビブスを提示し受付を行い使用することができる。
ただし、シャワーの使用は不可とし、更衣のみの使用とする。使用状況によっては、人数を調整する。
- (8) 競技終了後は必ず手洗いや洗顔などを行い、消毒を実施し、新型コロナウイルスの感染予防に努める。

2 競技会全般に関して

1. 本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
本大会のスタート動作における競技規則は、国内ルールを適用する。
2. 各団体代表者(学校については引率教員もしくは保護者)は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませておく(受付がない場合、競技者は競技に出場できない)。もし、大会に出場しない選手がいる場合は、この際に競技者係(招集場)へ欠場届を提出するか口頭で申し出る。
3. 招集所、招集時間について
 - (1) 招集所は、1階正面玄関ウッドデッキで行う。必ず体調管理チェックシートを提示すること。
 - (2) 招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。
 - (3) 1階正面玄関ウッドデッキを控え場所として使用しない。(緊急時には、避難場所として使用する。)
4. ウォーミングアップについて
ウォーミングアップの実施は競技開始2時間前から可能とする。
 - (1) 本競技場
本競技場内でのウォーミングアップは禁止とする。
ただし、ハードル種目においては、タイムテーブルに記載された時間に練習を行っても良い。
入退場はA・Bのゲートを使用すること。
 - (2) ウォーミングアップ場(サッカー場・多目的広場)
 - ①終了時刻は最終種目招集開始時刻までとする。
 - ②スパイクを利用した練習は実施できない。
 - ③他人の怪我につながる可能性のある行為はしない。

- ④出場種目の2時間前から最終コールまで使用可とする。
- ⑤本競技場で入場受付を済ませた選手及びIDを所持した人のみ入場可能とする。

5. 施設設備の使用について
今大会では競技終了後の清掃当番がないので、各自で出したごみは必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。
6. 写真及びビデオ撮影について
肖像権の法に触れる行為に関して、個人で記録したものを無断でネット上にアップロードしない。
7. Live 配信について
今大会は、YouTube によるライブ配信を行う。

3 競技に関して

1. アスリートビブス（ナンバーカード）について
 - (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。
 - (2) 招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方に、明確に数字が読めるようにつける。
 - (3) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。
2. 競技について
 - (1) 走路順は、プログラム記載順とする。
 - (2) 競技者の変更はいっさい認めない。
 - (3) 使用器具は、原則として競技場備えつけのものを使用する。
 - (4) 全天候走路なので、スパイクのピンの長さは9mm以下とする。
 - (5) WA 規則 TR5.2~TR5.6:のルール再改訂における本大会での適用について
本大会は、標記の規則を適用して実施する。招集所にて、靴の確認を行なう。

■靴底の厚さ(TR5.13.3)

▼最大の厚さは、26.5cm~27cmを基準としています。

2024年10月31日まで

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (三段跳を除く)	20mm	三段跳を除く全てのフィールド種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を除き、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競争を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。
クロスカンントリー	25mmスパイクシューズ または 40mmノンスパイクシューズ	
道徳競技 (競走・競歩)	40mm	
マウンテンレース/トレイルレース	制限なし	

【選手の動線について】

1. 競技場内にはそれぞれ指定されたゲート（招集後入場口）から入退場する。また、メインスタンド下および屋内通路は通行しない。
2. 入場の際は体調管理チェックシートを提出する。指定されていないグラウンドレベルへ通じるゲートは封鎖する。
3. 競技場内を通過する際には、競技運営に支障が無いように十分配慮すること。
4. トラック種目はゴール付近に設置した腰ナンバーカード回収所で腰ナンバーカードを返却し、荷物置き場に戻る。その際遠回りでも、グラウンドを一周する。
6. 競技終了後速やかに競技場外へ退出する。
8. 記録の掲示は行わないので、記録速報ページで記録を確認する。アナウンスによる上位記録の発表は行う。
9. 荷物置き場について
荷物置き場は競技に臨む最低限の荷物を置く場所とする。競技運営上支障のない場所で、密にならないようにする。

会場 1 階見取図

